

災害に備えて 市総合防災訓練

大地震を想定して

10月27日、市民の防災意識の向上と災害発生時の関係機関との連携強化のため、市内各地で総合防災訓練を行い、約6,000人が参加しました。

ことしの訓練は平日の昼間に本市で震度7の大地震が発生した場合を想定して実施。命を守る1分間行動（シェイクアウト）のあと、各行政区の公民館や公園など1次避難場所への避難訓練を行いました。

児童引き渡し・避難所開設

メイン会場となった西合志東小学校では、児童たちが防災ずきんを被って校庭に避難。その後、保護者への引き渡し訓練が行なわれました。指定避難所である同校体育館では、地域住民による避難所開設訓練を実施しました。自主防災組織、防災士、市職員が参加し、通路の確保、避難者スペース、要支援者スペースの設置の仕方などを実践。その後、熊本大学の竹内裕希子准教授による講評と、経験に基づいた防災講話を行いました。避難所設置に関して改善点もあげられ、今後の避

難所設置や運営に生かされる講評・講話となりました。

それぞれの立場で災害に備える

避難行動要支援者の避難訓練、消防団による情報伝達訓練、社会福祉協議会による災害ボランティアセンターの開設訓練も行いました。隣接する西合志南中学校では、防災に役立つ備蓄品の展示や救急救命講習が受けられるコーナーを設け、多くの人たちが訪れました。

自衛隊と市食生活改善推進員による炊き出し訓練ではカレーライスに参加者へ振る舞いました。

訓練を通して、参加者はそれぞれの立場で防災意識や防災に関する知識を深めました。



さわやかな汗光る ウォーキング大会in合志市

●問い合わせ先
健康づくり推進課
健康政策班
☎248-1173

10月26日、ウォーキング大会in合志市を開催しました。5キロコースと15キロコースに716人が参加。参加者は仲間や家族と自然を楽しんだり、自分の記録に挑戦したりと思いいいに完歩を目指して歩きました。

ヴィーブルを発着点に、5キロコースではアンビー熊本や飯高山などを散策。15キロコースではさらに元気の森公園や菊池恵楓園、竹迫城跡公園などを巡りました。

チエックポイントの飯高山では市女性連絡協議会まちネットセラヴィの手作りの芋もちぜんざいが振る舞われ、甘いぜんざいに舌鼓を打つ参加者の姿が見られました。

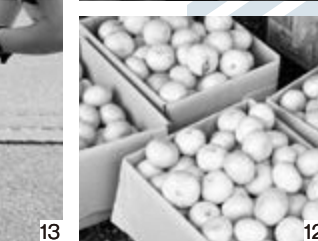
見事、完歩した人へは完歩証や参加賞が手渡されました。参加した人は「疲れたけれど気持ちよかったです」「歩きさかれるか心配だったけどゴールしてうれしかったです」など笑顔で感想を語りました。



- ① よーいドンでいっせいにスタート
- ②・③ 振る舞われたいもちぜんざいが参加者の体を温めます
- ④ 自然を感じながらウォーキング



- ⑤⑥⑦⑧⑨ 家族や仲間とウォーキングを楽しみます
- ⑩ チェックポイントでスタンプをゲット
- ⑪ 一人一人、意気込みを書き込んだゼッケン
- ⑫ みかんや飲み物、お菓子の配給もありました
- ⑬⑭⑮ 見事、完歩し完歩証を手に笑顔の皆さん



- ① 校庭に避難する児童
- ② 避難行動要支援者を想定した避難訓練
- ③ 消防団の情報伝達訓練
- ④ 救命方法の講習
- ⑤ ボランティアセンター開設訓練
- ⑥ 緊急車両の装備品を学ぶ子どもたち
- ⑦ 竹内准教授による講話
- ⑧ カレーの炊き出し訓練



もう一度チェック 家庭での災害への備え

もしものときのため、家庭でも避難所の確認や危険箇所の把握、安否確認の方法を決めるなど備えておくことが大切です。備蓄品もそろえておきましょう。

●備蓄品チェックリスト（最低3日×人数分）

- | | |
|---|---|
| ☐ お米（レトルトやアルファ米） | ☐ 簡易トイレ |
| ☐ 紙皿、紙コップ、割りばし | ☐ ウエットティッシュ、トイレトペーパー |
| ☐ インスタント食品 | ☐ 水不要のシャンプー |
| ☐ 飲料水 | ☐ ビニール袋、工具 |
| ☐ カセットコンロ | |

防災マップも確認を



市で配布している防災マップにも災害時に身を守るための情報が掲載されています。